



市内でも、環境を守るための市民活動が行われています。左：国富地区のコウノトリの郷づくり推進会の生物調査。右：若狭総合公園（北塩屋）でのブラックバス捕獲

近

年、日本各地で、本来の生態系、生育以外の地域から、人為的に運ばれた「外来生物」が引き起こす問題が発生しています。小浜も例外ではなく、外来生物による被害は、年々増加傾向にあります。

り、交雑して雑種ができたりすること、生態系のバランスが崩れ、土地本来の自然が失われています。二つ目は、人の健康への被害です。外来生物の中には、毒を持っている種もあり、噛まれたりすること、私たちの生命や身体に危険が及ぶことがあります。

で産業に大きな損害が出ています。そのほかにも、外来生物が、家屋や文化財を壊したり、巣を作ったりして、多くの被害が、多く報告されています。被害を抑えるための防除活動として、まずは、何が外来生物なのか、「知る」ことが大切です。

多様な生物が暮らす、小浜の自然環境を、私たちの手で守り育み、後世へと残していきたいと思います。

「外来生物」とは

もともとその地域にいなかったのに、人によって持ち込まれた動物や植物を「外来生物」と言います。

中でも、外来生物法で指定された生物を「特定外来生物」、法律の規制はないが、在来生物に悪影響を与える生物を「要注意外来生物」と言います。

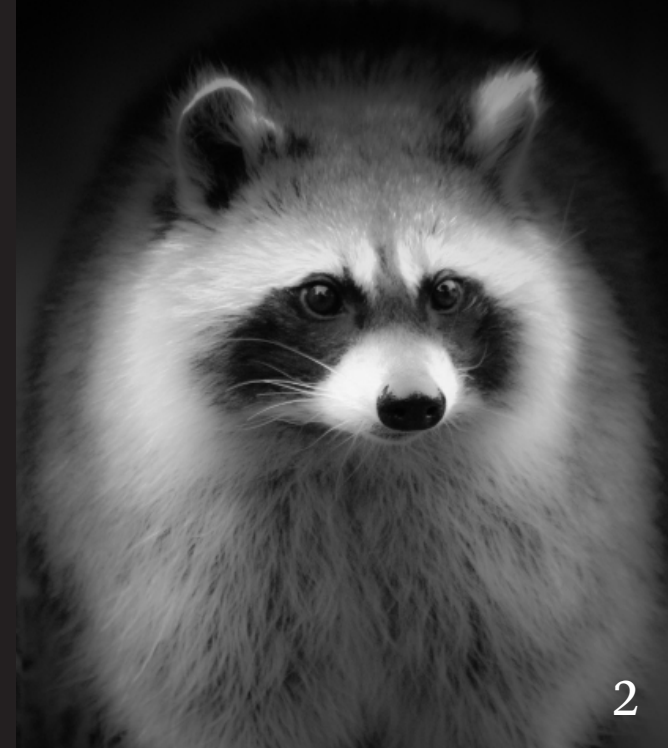
どんな対策が必要？

自然再生は、どこでも、誰でもできる取り組みです。小浜でも各地域や団体が活動をしています。

外来生物を捕獲するには、許可が必要な場合もあります。

捕獲や対策については、環境衛生課まで相談してください。

◀次のページでは、特に被害の多い、オオキンケイギクとアライグマについて紹介します



代表的な特定外来生物の、1. ブラックバス、2. アライグマ、3. オオキンケイギク、4. ウシガエル

あなたの身近に迫る！ 外来生物の脅威

人間が外部から持ち込んだ「外来生物」により、その土地本来の生態系が破壊され、環境問題となっています。自然を本来の姿に戻すため、私たち一人一人の行動が鍵になります。

■問い合わせ 環境衛生課 ☎ 64・6016



【アライグマ】

分類：哺乳綱食肉目アライグマ科の哺乳類
体長：頭胴長 40～60 ㍓。尾長 20～40 ㍓。体重 4～10kg
特徴：目と鼻の黒い模様と、尾にある 7 本程度のしま模様



左．市で貸し出している捕獲檻。右．住宅の屋根裏に残された糞尿被害

特定
外来生物

アライグマの飼育・譲渡・輸入は原則禁止されています。販売や野外に放つことは厳禁です。

とても
気性が
荒い

幼少期は人に懐くこともあります。成獣(特に繁殖期)になると、気性が非常に荒くなります。

文化財や
人家に
営巣

農作物被害や、建物への侵入や破壊、在来の生き物を食べるなど被害が発生しています。

インタビュー

市民、市、猟友会が協力して外来生物対策を



福井県猟友会小浜支部
中獣類捕獲従事者
林 工 さん(75 歳・深野)

アライグマは気性が荒く、繁殖力も強い外来生物です。農作物を荒らし、寺社仏閣や住宅でも相当な被害が出ています。外来生物は、市民、市、猟友会、みんなが協力することで防げるものです。市でも檻を貸し出し、猟友会がサポートしますので、ぜひ活用してください。

捕獲檻の貸し出しを行っています

■問い合わせ 農林水産課 ☎ 64・6024

最近、アライグマやハクビシンなどの中獣類の外来生物が、農作物を荒らしたり、民家の屋根裏に住みついたりという被害が報告されています。市では、このような被害を防ぐために、捕獲檻の貸し出しを行っています。設置には、専門知識を持つ猟友会がサポートしますので、誰でも、安心して申し込みます。檻が必要な人は、農林水産課までご連絡ください。



【オオキンケイギク】

全体：高さ 30～70 ㍓。多年生 ※毒性はありません
花：橙黄色^{とうこうしよく}。5～7 月ごろ咲く。直径 5～7 ㍓
葉：下のほうについている。両面に荒い毛がある



左．北川堤防での駆除作業。右．オオキンケイギクは花下部の種に要注意

特定
外来生物

栽培・保管・運搬などを行った場合、外来生物法により、罰金刑になる場合もあります。

とても
繁殖力が
強い

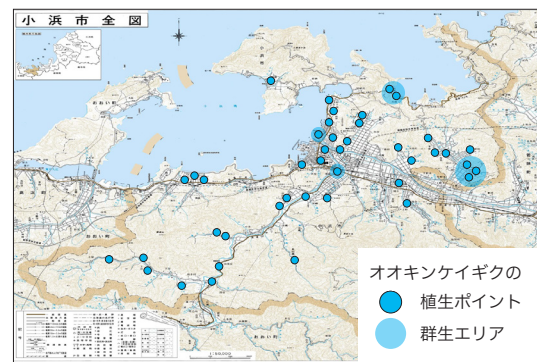
地域に本来あった草花が取って代わられるなど、景色や生態系が一変する恐れがあります。

栽培しない
駆除が
必要

生えていたら、根から引き抜き、乾かした後、種が飛ばないように、燃えるゴミに出してください。

オオキンケイギクの主な市内分布図

分布図は環境衛生課調べ



※クリーンアップ大作戦や地域ボランティア清掃などでの駆除の相談は、環境衛生課まで

オオキンケイギクは生態系を壊す危険な植物

オオキンケイギクは、繁殖力が強く、在来種の生態系を壊す、危険な植物です。北川出張所では、北川堤防で職員による駆除作業を実施しています。種が飛ぶとすぐに根付くので、市内全域で対策を取る必要があります。栽培は行わず、駆除への協力をお願いします。

インタビュー



国土交通省 福井河川国道事務所 北川出張所
岡本 隆 所長 (58 歳)